

新潟大学保健学雑誌投稿要領

令和2年5月30日

新潟大学保健学雑誌編集委員会

1. 新潟大学保健学雑誌（以下本誌）は、新潟大学大学院保健学研究科および医学部保健学科における教育研究の成果を公表するものである。本誌の目的および投稿資格者等は、新潟大学保健学雑誌発行要項を参照する。
2. 本誌への投稿条件として、人および人体材料を用いた研究の場合は「ヘルシンキ宣言」（世界医学会）や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）などの倫理的指針に従う。また、動物実験を含む研究の場合は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）などの指針に従う。倫理審査委員会の承認を経た場合は、その名称と承認番号を本文中に明記する。
3. 和文論文、英文論文を受け付ける。和文論文の場合、「表題」「著者名」「所属」「要旨」「key words」に英文も併記する。
4. 英文原稿については、著者の責任において **native speaker** による英文校正をうけることとする。和文原稿の英文抄録についても、英文校正を受けることが望ましい。
5. 和文原稿は、A4 版横書き 24 字×30 行（720 字）を 1 頁に設定する。英文原稿は、A4 版横書きダブルスペースとする。原稿には、ページ番号を下中央に付すこととする。
6. 原稿の文字数は、文献注等を含め「原著」「総説」は 16,000 字（英文の場合は 8,000 語）以内、「症例報告」「報告」は 16,000 字（英文の場合は 8,000 語）以内、「その他」は 12,000 字（英文の場合は 6,000 語）以内を原則とする。
7. 「原著」「症例報告」「総説」「報告」の場合には、400 字以内（英文の場合 250 語以内）の要旨および 5 語以内の **key words** を記載する。
8. 和文ランニングタイトルは 25 字、英文ランニングタイトルは 12 **words** 以内とする。
9. 図表は、1 点を 1/2 頁（360 字）とカウントする。
10. 論文の構成は、表題、著者名、所属、要旨、**key words**、緒言、方法、結果、考察、結論、引用文献の順に記載することを原則とし、内容に応じて自由とする。
11. 本文の書式は、原則として横書き、新かなづかい、常用漢字を使用する。句読点は全角とし、欧米文字、算用数字は半角とする。フォントは、和文の場合「MS 明朝体」、英文の場合は「Century 体」とし、文字の大きさは 10.5 ポイントを原則とする。
12. 表題のフォントは、和文の場合「MS ゴシック体太字」、英文の場合は「Century 体太字」とし、文字の大きさは 16 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。
13. 著者名のフォントは、和文の場合「MS 明朝体太字」、英文の場合は「Century 体太字」とし、文字の大きさは 14 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。
14. 図表は一枚ずつ印刷し、挿入箇所を本文余白に赤字で記入する。

15. 引用文献はバンクーバー方式に則った記載とし、本文に引用された順に番号をつけて末尾に一括する。本文中の該当箇所には右肩上に片括弧で当該番号を記入する。共著者は3名以内（4名以上は、和文は他、英文は et al）とし、雑誌論文は、「著者. 表題. 誌名(Index Medicus、医学中央雑誌の記載に準拠). 発行年;巻数:頁.」の順に記載する。単行本等の書籍は、「著者名(編者名、監修者名): 書名. 出版者, 出版年, 発行地, 引用頁(章の場合).」とする。ウェブページならびに PDF ファイルからの引用をする場合は URL を記載する。

例)

ア 雑誌論文

- 1) Halpern SD, Ubel PA, Caplan AL. Solid-organ transplantation in HIV-infected patients. N Engl J Med. 2002;347:284-7.
- 2) Takahashi N, Tsai DY, Lee Y, et al. Z-score mapping method for extracting hypoattenuation areas of hyperacute stroke in unenhanced CT. Acad Radiol. 2010;17:84-92.
- 3) 東智子, 関奈緒, 田邊直仁, 他. 災害対応業務が自治体職員の身体的健康に及ぼす影響—新潟県中越地震前後における健康診断検査値の変化に注目して. 新潟医学会雑誌. 2010;12:671-81.

イ 書籍 (全体)

- 1) Murray PR, Rosenthal KS, Kobayashi GS, et al: Medical microbiology. 4th ed. Mosby, 2002, St. Louis.
- 2) 高木廣文: 質的研究を科学する. 医学書院, 2011, 東京.

ウ 書籍 (章のみ)

- 1) Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM: Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors: The genetic basis of human cancer. McGraw-Hill, 2002, New York, p93-113.
- 2) 岩渕三哉: 消化器系. 胃・十二指腸疾患. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正(監): ダイナミック病理学—365 症例からのアプローチ. 西村書店, 2010, 東京, p490-501.

エ ウェブページならびに PDF ファイル

- 1) WHO: WHO statement on reports of alleged misconduct.
<https://www.who.int/news-room/detail/17-01-2019-who-statement-on-reports-of-alleged-misconduct> (最終アクセス 2020.5.15)
- 2) 新潟大学医学部保健学科: 学科案内.
<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/%e5%ad%a6%e7%a7%91%e6%a1%88%e5%86%85/>
(最終アクセス 2020.5.15)

16. 原稿は、正本1部、副本2部を投稿する。合わせて、原稿・図表等を記録した CD-R (ラベルに氏名・論文の表題を記入) を同封する。原稿には表紙を付け、論文の種類、論文

の表題、著者名および共著者の氏名、所属機関名、key words、代表著者の連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス）を記載する。

17. 投稿先は以下とする。郵送の際は封筒の表に「新潟大学保健学雑誌原稿」と朱筆し、書留で郵送する。

〒951-8518 新潟市中央区旭町通 2-746

新潟大学保健学雑誌編集委員会宛

18. 編集委員会に原稿が到着した日を、投稿の受付日とする。
19. 原稿の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。査読者は、編集委員会が依頼した査読にふさわしい本学の教員もしくは外部の有識者、2名があたる。なお、編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りではない。査読により再提出を求められた原稿は所定の日時までには再投稿する。再投稿期限を過ぎた原稿は新規受付とする。編集委員会は投稿論文の体裁及び内容について修正を求めることがある。また、著者校正は1回のみとする。
20. 他誌に既発表あるいは投稿中の論文は、本誌への投稿を禁ずる。また、本誌に受理された論文は他誌に投稿できないこととする。
21. 本誌は別刷を作成しない。著者にはPDFを送付する。